

編集室

* 5月連休明けにこの文章を書いています。普段、大学で教鞭を執る身として、気候も爽やかで、新学期スタート時の喧騒から落ち着きを取り戻しつつあるこの時期は、新年度における取組みをじっくり考えることができる時期です。今年は元号も平成から令和に代わり、新たな気分で連休明けを迎えました。

* さて、小学生や中学生が将来なりたい職業の一つに YouTuber がランクインしたそうです。子供たちにとって、プロスポーツ選手や芸能人など、多くの人の注目を浴び、高収入が期待できる職業に並ぶあこがれの職業となっているようです。一方、親が子供になってほしくない職業としても YouTuber が上位に来るようで、時代の変化や世代間の価値観の違いを感じます。

* 本号ではバーチャル YouTuber に関する記事を掲載しました。実在の人物ではなく、架空のキャラクタを YouTuber として登場させる動画像ですが、海外でも人気の高い日本のコンテンツであるアニメと、モーションキャプチャや仮想現実などの最新の技術が組み合わさった面白い分野です。シナリオが決まっているアニメと異なり、視聴者のコメントなどを基に次の動画像に反映させるなどのインタラクティブ性も、新たなメディアそしてビジネスとしての可能性が期待されます。人工知能の技術はまださほど導入されていないようですが、そのうちふんだんに取り込まれていくことでしょう。技術的にも面白い分野ですが、20代、30代の最近の人たちを対象としたアンケートに「人とリアリティがあって疲れるが、バーチャルだと現実を離れられる」という回答がありました。こんなところにも若い人たちの気質や価値観を垣間見ることができました。(編集特別幹事 石黒仁揮)

8月号小特集予定目次「生体機能の“安全”な計測・評価を目指して」

小特集編集にあたって	編集チームリーダー 井ノ上直己
1. 生体機能の計測・評価に関連する各分野の現状	
1-1 関連分野概観	木竜 徹
1-2 身体動作の計測・評価	
1-2-1 筋音図を用いた身体動作の計測・評価	岡 久雄 福原真一
1-2-2 筋電図を用いた身体運動の計測・評価	増田 正
1-3 疲労とストレスの計測・評価	
1-3-1 電気生理運動学を用いた肉体的疲労の計測・評価	赤澤 淳 吉田正樹
1-3-2 自律神経系を用いた精神的ストレスの計測・評価	塩入俊樹
2. 生体機能の統合的な計測・評価のための理論と技術	
2-1 筋シナジー仮説に基づく生体機能の情報集約	
2-1-1 ロボティックスの立場から——筋シナジー仮説に基づく5指駆動形筋電義手のバイオミメティック制御——	辻 敏夫 古居 彬
2-1-2 神経生理の立場から——筋シナジーに基づく筋骨格系の冗長自由度を簡略化する仕組み——	神崎素樹
2-2 センサフュージョンを活用した生体機能の計測・評価	持丸正明
2-3 生体システムの理論と生体計測技術との融合の可能性と課題	赤松幹之
3. リハビリテーションにおける生体機能の計測・評価の現状と今後	
3-1 実環境でのリハビリテーション応用	
3-1-1 感覚入力と脳の可塑性	大西秀明
3-1-2 視覚誘導性自己運動錯覚——脳内身体性システムに影響するVRリハビリテーションシステム——	金子文成
3-2 仮想環境でのリハビリテーション応用	杉田典大 吉澤 誠
4. 健康・スポーツにおける生体機能の計測・評価の現状と今後	
4-1 感覚系の特性に関連した最近の課題	林 容市 田中喜代次
4-2 長時間モニタリングによる日常生活下循環動態評価の課題	早野順一郎